

中新世コイ科魚類ルーサイプリヌス属 *Lucyprinus*について

安 野 敏 勝*

On the Genus *Lucyprinus* of the Miocene Cyprinid

Toshikatsu YASUNO*

はじめに

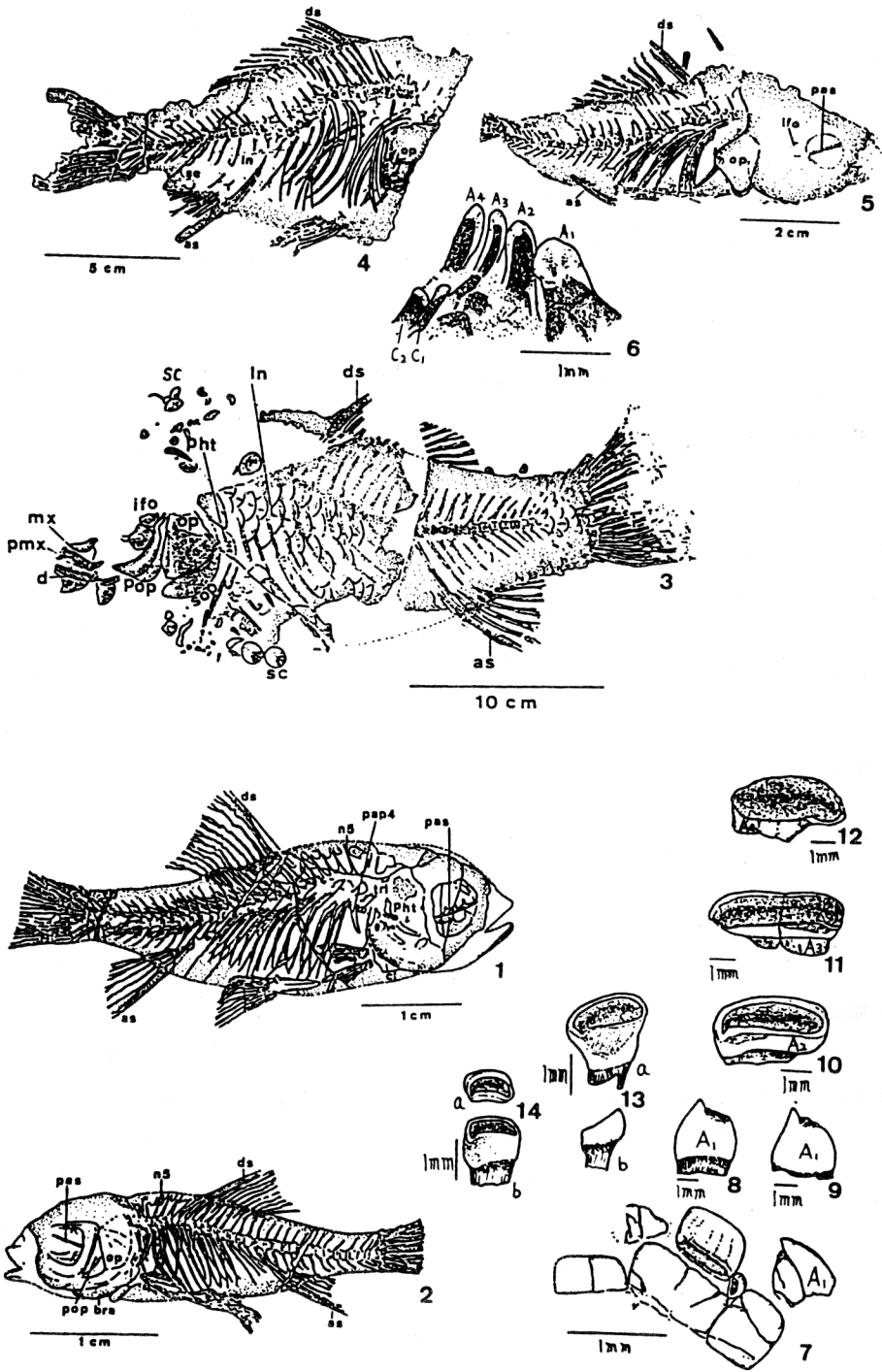
コイ科魚類化石が日本の各地の中新統から発見されることが、最近の10年間ほどの調査研究から明らかになり、かなりの種類の化石が報告されるようになった(友田他, 1977; 安野, 1986)。これらの化石は亜科あるいは属段階で分類されていることが多い。このなかに、コイ亜科のルーサイプリヌス属の化石が含まれており、筆者は *Lucyprinus* 属として日本産の化石2種を報告した(Yasuno, 1986; 安野, 1986)。この化石魚類は中新世の主要なコイ科魚類であり、コイ亜科の系統を研究する上でも重要な古生物学的意義のある化石である。この報告にたいして、筆者は中国北京の脊椎動物与古人類研究所の周家健博士よりルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* という属名の使用についての指摘を受けたので、ここにルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* の由来と日本産化石の関係についての考えを述べることにしたい。

ルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* と日本産化石について

筆者は、中新世の福井県糸生累層、岐阜県^{かたがひ}帷子・中村累層、石川県医王山累層および北海道吉岡累層から産出したコイ亜科魚類化石を分類学的記載をしないでルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* として報告した(安野, 1986: 第1図)。このルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* は、中国北京の古脊椎動物与古人類研究所長の張弥漫博士によって中国山東省の山旺産の化石として初めて日本に紹介された(Chang, 1986; Chang et Chow, 1986)。この山旺の中新統からはウグイ属 *Leuciscus* (ウグイ亜科)、バルブス属 *Barubus* (バルブル亜科) やモツゴ属 *Pseudorasbora* (カマツカ亜) などのコイ科魚類化石が報告されている(Young et Tchang, 1936)。北京の古脊椎動物与古人類研究所の周家健博士は、現在これらの化石の再検討を進めており、すでにバルブス属 *Barubus* として記載された化石にたいして新属のルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* を創設した。このことは、張弥漫博士などの御好意によって北京の研究所を訪問した折り、周家健博士の説明を受けてルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* などの山旺産コイ科魚類化石を拝見したことから確認されたことである。

ところで、筆者は周家健博士からルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* は山旺産の化石に基づいて周博士自身によって創設されたことを明記することを求められた。その理由として、ルーサイプリヌス属

* 福井県立羽水高等学校



第1図 ルーサイプリヌス属化石とされた日本産化石(安野, 1986より)

1, 2, 7 : 福井県糸生累層産標本 3 : 石川県医王山累層産標本
4 ~ 6 : 北海道吉岡累層産標本 8 ~ 14 : 岐阜県帷子累層産標本

*Lucyprinus*はまだ動物命名規約に基づいた記載がなされていなかったことが挙げられる。すでに、筆者はいくつかの日本産の化石をルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* として報告した(安野, 1986)が、この属が上に述べたように周家健博士によって創設された属であること、筆者がこの属名を日本の化石に対して用いたことは適切さを欠いたこと、日本産の化石標本については全く分類学的記載がなされていないので筆者の用いたこの属名は有効でないことをここに明記しておきたい。ただ日本産のいくつかの化石は、周家健博士によるルーサイプリヌス属 *Lucyprinus* と同属あるいは極めて近縁な属であることは間違いないことであると思われるが、とりあえずは日本産の化石については中国標本とは独立に研究を進めていくことになる。しかし、近い将来に、日中の研究者が中国及び日本産の化石標本を同時に比較検討することによってこのような分類学上の問題、古生物地理上の問題や系統上の問題等が解決に近づくであろう。さらに付け加えるならば、中国大陆に近接する日本列島から産出する化石の研究において、日本及び中国の研究者の交流が必要であることは言うまでもないことであり、今後両国間の交流がより活発になることを期待している。

引用文献

- Chang, M. M., (1986) : Neogene Ichthyofauna of China. Symposium, Origin and Development of the Freshwater Fish Fauna in the East Asia, *Abstract*.
- and Chow, C. C. : (1986) : Stratigraphic and geographic distribution of Late Mesozoic and Cenozoic fishes of China. *Indo-Pacific Fish Biology*. 529—539, *Ichthyol. Soc. Japan*.
- 安野敏勝, (1986) : 日本の後期新生代産のコイ科魚類の古生物学的研究, 福井県立羽水高等学校研究集録, 第4号, 61—82
- Yasuno, T., (1986) : Paleontological Studies of the Fossil Cyprinids from the Late Cenozoic Deposits in Japan. Master's thesis (MS), 183 pp, *Joetsu Univ. Edu.*
- Young, C. C and Tchang, T. L., (1936) : Fossil Fishes from the Shanwang Series of Shantung. *Bull. Geol. Soc. China*, 15, 197—205.